

# 県図だより

第24号(毎月15日発行)  
https://www.library.pref.kagoshima.jp  
Tel:099-224-9511 Fax:099-224-5824

## ホットニュース

### 令和7年度海音寺潮五郎記念文化講演会

県立図書館では、海音寺潮五郎氏の文業をたたえ、その功績を後代に伝えるとともに文化の振興を図る目的で、海音寺作品の朗読や直木賞受賞作家による講演会を開催します。

～海音寺潮五郎作品朗読～ 県立鶴丸高等学校放送部

～講演～ 直木賞作家 **万城目学** 氏

『八月の御所グラウンド』(文藝春秋)で第170回直木三十五賞を受賞(2024)

～演題～ 「小説家、日常と非日常の交差点で物語を紡ぐ」



作成中

【日時】 令和7年10月18日(土) 13時30分～15時40分

【場所】 カクイクス交流センター 県民ホール(鹿児島市山下町14番50号)

【申込み】 県立図書館のホームページからダウンロードできる申込書でお申し込みいただくか、右の二次元コードを読み取り、電子申請でお申し込みください。お問合せは、☎099-224-9514(奉仕課企画指導係)へ

申込み用  
二次元コード

## 図書館で探そう、調べよう! 鹿児島の作家 椋鳩十について書いてある本を探したい!

小中学生にとって夏休みは自分の可能性を広げられる素晴らしい時期です。普段できないことに全力で向き合えるとともに、じっくりと時間をかけて取り組むことができます。

先日、小学6年生から「自由研究で椋鳩十先生について調べたいのですが、参考になる本はありますか。」とのおたずねがありました。5年生のころに学習した『大造じいさんとガン』が面白かったこと、作者が鹿児島県を代表する作家だということを知ったことがきっかけのことでした。県立図書館の館長をなさったことのある椋先生は、今年生誕120年を迎えます。もしかしたら、どこかでそのことを聞いていたのかもしれない。

早速、県立図書館児童文化室の「椋鳩十コーナー」を案内し、椋先生の本を見てもらいました。「こんなにたくさんあるんだ。あつ、『大造じいさんとガン』もある。」など、椋先生のこれまでの功績に驚いていたようでした。また、生い立ちなども調べたいということでしたので、椋先生の伝記を紹介しました。伝記には、生い立ちから作家としての活動、作品がどのようにして生まれたのかが描かれています。また、椋先生がどのように自然と向き合い、どのような思いで作品を執筆したのかも描かれています。レファレンスを通して、椋先生の人間性や創作の背景を知った小学6年生が、「勉強になりました。ありがとうございます。自由研究が完成したら、見せに来ます。」と言って帰って行った後ろ姿は、自身に溢れていたように見えました。



《一般図書》9月12日(金) 《児童図書》9月23日(火)

## 新着図書案内

○ 日本被団協と出会う 私たちは「継承者」になれるか  
大塚 茂樹/著 旬報社

○ 算数がどんどん楽しくなる! おりがみあそび  
園田 毅/著 主婦の友社

○ 図解眠れなくなるほど面白いクマの話  
山崎 晃司/監修 日本文芸社

○ えほん〈学校の怪談〉  
トイレの花子さん・かくれんぼ  
常光 徹/文、檜 喜八/絵 講談社

○ レモネードに彗星  
灰谷 魚/著 KADOKAWA

○ じいちゃんの赤いスニーカー  
本田 有明/作、しろこ/絵 偕成社



左の二次元コードから今月の新着資料全てを御覧いただけます。画面上段のプルダウンリストから館種と図書館別が選べます。お探しの分類(歴史、文学全般等)をお選びください。

## 催し物の御案内

- 椋鳩十生誕120周年記念企画展示  
9月18日(木)～10月23日(木)  
「図書館長 椋鳩十」  
鹿児島県立図書館長在任中の椋鳩十氏に関わる貴重資料を展示します。
- 児童文化室ミニ展示  
9月23日(火)～10月22日(水)  
「てんきとくらし」  
雨や雪、くもりの時など、空の上ではなにかおきているのでしょうか? てんきと私たちの生活についても考えてみましょう。
- 一般閲覧室ミニ展示  
10月1日(水)～10月31日(金)  
「アートに親しむ」  
美術館や博物館を訪れるついでに、図書館の本でも芸術の秋を感じてみませんか?

## 職員のつぎやき

先日、子どもと鹿児島県歴史・美術センター黎明館の企画展を見に行きました。展示の規模や迫りに感動しつつ、子どもと一緒にじっくり見て回り、存分に楽しむことができました。その後、県立図書館の企画展も見に行き、郷土の歴史について改めて学ぶ良い機会になりました。

まもなく、県立図書館では椋鳩十生誕120周年記念の企画展が始まります。教科書にも登場する椋鳩十の展示を、子どもを連れて見てみたいと思います。図書館をはじめ、周辺には多くの文化施設が点在していますので、機会があればぜひ散策してみてください。

今回紹介していただいた宝本は、伊坂幸太郎/著の『砂漠』(実業之日本社)です。

この本は、私の好きなバンドのボーカルの方がおすすめしていたのがきっかけで出会いました。

主人公の北村が大学生になってからの4年間の日常や不思議な友達との出会い、そして北村と友達に起こる様々な出来事がとても面白くて読みやすいです。

当時、本を読むことに関してあまり興味がなかった私が本を読むことの楽しさにふれて、小説に対して関心を持つようになった1きっかけでもあります。これからも小説に関心を持ち続けていきたいです。(中学1年生)



## 児童文化室から

にじいろのほん『はじめてのおつかい』

つづい よりこ はやし あさこ ふくいんかんしよてん  
筒井 頼子 さく、林 明子 え(福音館書店)

からのクイズです。

みいちゃんが かいに いったのは?

- ①ぎゅうにゅう ②コーヒー ③おはな

ヒント

しろくておいしいよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、10月13日(月)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「②ブラシ」でした。  
皆さんの御応募ありがとうございました。

## 図書館カレンダー 23

月	日	月	火	水	木	金	土
9	14	15	16	17★	18	19	20
	21	22	23	24★	25	26	27
	28	29	30	1★	2	3	4
10	5	6	7	8★	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18◆

開館時間 火曜日～土曜日: 9時～21時  
日曜日・祝日: 9時～17時

- は、休館日、白抜は午前9時～午後5時
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日午後3時半～午後4時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日  
(9月30日、10月15日予定)
- は、児童文化室新着図書の日(9月23日)
- は、学習室のみ開館(午前9時～午後5時)

カバー、ページ破れなどの破損等を見つけたら、御自身で修理せずに、カウンターまでお持ちください。